

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 29 年 2 月 6 日（月）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	25-OH-ビタミンD
検査コード	1560
JLAC10	該当なし
診療行為コード	160209050
検体量	血清 0.5 mL
保存・容器	必凍・A1→A2
実施料（判断料）	400 点（生化 I）
所要日数	4 ~ 10 日
検査方法	CLIA 法
基準値	設定なし（単位：ng/mL）
備考	重複依頼不可

保険収載名称：25-ヒドロキシビタミンD

保険注釈：本検査は、CLIA 法により、ビタミンD欠乏性くる病若しくはビタミンD欠乏性骨軟化症の診断時又はそれらの疾患に対する治療中に測定した場合にのみ算定できる。ただし、診断時においては 1 回を限度とし、その後は 3 月に 1 回を限度として算定する。

《解説》

ビタミンDは、腸管でのカルシウム吸収や骨代謝に関して重要な役割を担っている脂溶性ビタミンの一つです。ビタミンDが体内に入ると、大部分は25-ヒドロキシビタミンDに代謝され、血中で長時間循環するためビタミンDの過不足の指標となります。

本検査は、25-ヒドロキシビタミンDの総量を測定するものであり、ビタミンD欠乏性くる病や骨軟化症におけるビタミンDの欠乏状態を把握することが可能です。

検査項目名称	抗 MDA5 抗体	抗 TIF1- $\gamma$ 抗体	抗 Mi-2 抗体
検査コード	1561	1562	3959
JLAC10	5G122-0000-023-023-00	5G124-0000-023-023-00	5G123-0000-023-023-00
診療行為コード	160209150	160209350	160209250
検体量	血清 0.3mL		
保存・容器	冷蔵・A1→A2		
実施料（判断料）	270 点（免疫）		
所要日数	5 ~ 11 日	4 ~ 10 日	
検査方法	EIA 法		
基準値	6718（判定）：（-） 6719（インデックス）：32 未満	6720（判定）：（-） 6721（インデックス）：32 未満	6722（判定）：（-） 6723（インデックス）：53 未満

保険収載名称：抗 MDA5 抗体、抗 TIF1- $\gamma$  抗体、抗 Mi-2 抗体

保 険 注 釈：①本検査は、厚生労働省難治性疾患克服研究事業自己免疫疾患に関する調査研究班による「皮膚筋炎診断基準」を満たす患者において測定した場合に算定できる。

②本検査と区分番号「D014」自己抗体検査の「9」から「14」まで及び「17」に掲げる検査を、2項目又は3項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、それぞれ320点又は490点を算定する。

## 《 解 説 》

### 抗 MDA5 抗体

抗 MDA5 抗体は、臨床的に筋症状を呈さない皮膚筋炎（CADM）で陽性になることが多く、特に急速に呼吸困難が進行する「急速進行性間質性肺炎」を高率に合併します。他の自己免疫疾患ではほとんど検出されず、成人の皮膚筋炎における出現頻度は 10~25%とされています。

治療前の抗体価が予後に関連する事を示唆する発表や、抗体価の推移が経過観察に有用であるとの報告がされています。

### 抗 TIF1- $\gamma$ 抗体

抗 TIF1- $\gamma$  抗体は、小児皮膚筋炎の約 25%、成人皮膚筋炎の約 15~25%で陽性となり、小児と成人の双方で皮膚筋炎における主要な自己抗体の一つです。特に成人の場合は、悪性腫瘍合併が高率にみられ、40 歳以上の例では皮膚筋炎の発症後 1~2 年以内は厳重な注意が必要であると言われています。小児の場合は、悪性腫瘍合併は報告されておらず、間質性肺炎も低率であり、重症化することはまれです。

### 抗 Mi-2 抗体

抗 Mi-2 抗体は、高力価の抗核抗体であり、小児皮膚筋炎の 5~10%、成人皮膚筋炎の約 10%で陽性となります。筋症状が明らかで、血清 CK 値が高い定型的な皮膚筋炎の臨床症状を呈します。

悪性腫瘍や間質性肺炎を伴うことは少なく、治療ではステロイドが奏功し、予後は良好な症例が多いと言われています。